

論 文

## 大学4年生の正社員内定要因に関する実証分析\*

荒木 宏子・安田 宏樹\*\*

### <要旨>

本稿は、大学4年生の正社員内定者の特徴を明らかにし、効果的な就職支援策の在り方について考察する。分析の主たる仮説として、正社員内定を決定づける要因が、学生のジョブ・サーチ活動そのもの（活動開始時期や応募先の選定基準）にあるのか、あるいは学力や人的資本等個人の特性にあるのかをマイクロデータを用いて検証を行った。推計に際しては、大学の属性（文系理系、偏差値レベル、国公立）等によって内定未獲得者の特性が異なる可能性に配慮し、サンプルを文系・理系学部別、大学区分、男女別に分け、グループごとの内定獲得要因を検証した。

分析の結果、正社員内定獲得要因は文系理系、大学区分によって大きく異なることが確認された。文系学部においては就職活動の開始時期の適切な誘導や、文系私立中高位及び国公立大学、理系私立高位校においては就職応募先の選定についてのアドバイス、さらに、文系私立低位校、公立大学においては学力促進など、大学による直接支援策に一定の効果が期待できる可能性が示唆された。一方で、理系学生については、文系に比べ、大学による支援の期待できる要素が正社員内定に及ぼす影響は総じて限定的であった。さらに、理系学生については、アルバイトなどの課外活動への熱心な取り組みが正社員内定に悪影響を及ぼす傾向も見出された。

分析を通し、大学生の就業支援策を講じる際には、それぞれの特性に適した政策立案が重要であるとの考察を得た。

JEL Classification Number : J24, I21, J20

Key Words : 内定要因、ジョブ・サーチ活動、文系理系比較

\* 本稿の作成に際し、JILPT データアーカイブから『大学生のキャリア展望と就職活動に関する実態調査』（労働政策研究・研修機構）の個票データの提供を受けた。ここに謝意を表したい。本稿は、日本経済学会 2011 年度春季大会（熊本学園大学）で報告した「大学生の進路決定に関する経済分析—進路未定者に着目して—」の改訂稿である。討論者を務めて頂いた佐野晋平先生（千葉大学）およびコメントを頂いた参加者の皆様に感謝したい。また、本稿を作成するにあたり、太田聡一先生（慶應義塾大学）、赤林英夫先生（慶應義塾大学）、そして本誌の匿名のレフェリーから、数多くの有益なコメントを頂いた。ここに深く感謝の意を表したい。なお、残された本稿の誤りについては全て筆者の責任に帰する。

\*\* 荒木宏子（近畿大学経済学部）、安田宏樹（東京経済大学経済学部）

## **Empirical Evidence on the Determinants of Success in Full-Time Job-Search for Japanese University Students**

By Hiroko ARAKI and Hiroki YASUDA

### **Abstract**

In this paper, we investigate the determinants of success for Japanese university students at finding full-time jobs before graduation, and discuss the shape of an effective job-search assistance policy. We employ micro-data in order to empirically verify whether success at being hired for a full-time position is decided by the individual's characteristics, such as human capital and academic skills, or by the way job-search activity is carried out (such as the starting time and the standards when choosing what company to apply for). Our findings show that the determinants of successful job search greatly differ by major and type of university. Students of Humanities and Social Sciences fields are more likely to successfully obtain a full-time job the earlier they start searching. Students of Humanities and Social Sciences in middle and top rank private universities, as well as those in national and public universities, and students of Natural Sciences in top private universities, benefit from advice regarding the criteria they should consider when choosing a potential workplace. Humanities and Social Sciences students in low rank private universities, and also in public universities, benefit from improvements in their academic skills. Students of Humanities and Social Sciences can be expected to obtain significant gains from direct support by the university. In contrast, the effect of this type of assistance for students of Natural Sciences is rather limited. Furthermore, enthusiastic involvement in extracurricular activities tends to have a negative effect on the success of Natural Sciences students at finding a full-time job.

JEL Classification Number: J24, I21, J20

Key Words: determinants of a finding full-time job, job-search activity,  
comparative study between university major.

## 1. はじめに

本稿の目的は、大学4年生の正社員内定者の特性、及びそのジョブ・サーチ活動の特徴について、進路未定者<sup>1</sup>（内定未獲得者）及び非正社員内定者と比較をしながら明らかにすることである。

大学生の就職困難が社会的問題となって久しい。厚生労働省と文部科学省が共同で実施している『大学等卒業予定者の就職内定状況調査』によれば、2015年3月の大学卒業者の就職内定率（2014年10月1日時点）は68.4%<sup>2</sup>と、東日本大震災以降4期連続の改善傾向にあるが、この数値は今日の大卒者進路の全様を捉えるに足りない。文部科学省『学校基本調査（平成26年度）』によると、2014年3月大学卒業者のうち、雇用期間に定めのない正規職に就業したのは65.9%である一方、正規の職員等でない者（3.9%）、一時的な仕事に就いた者（2.6%）、進学も就職もしていない者（12.1%）と、合せて18.6%（数にして10万5千人以上）の大卒者が不安定な雇用状況に置かれていることが分かる。

このような大卒者の雇用状況は、初職で正社員就職を成し遂げるか否かがその後の職業人生に大きな影響を与える日本の労働市場では、将来的に大きな社会問題となる可能性を秘めている。Kondo（2007）では、初職が正社員であることが現職も正社員であることに因果関係を持つことが示されており、勇上（2009）では初職で正規雇用に就けなかった労働者はその後の正規雇用への移行が困難になることを指摘している。さらに、堀田（2010）では、初職が非正社員であることは、能力開発機会に負の影響を及ぼすことが見出されている<sup>3</sup>。大学生の就職難は最も効率的に技能やスキルを吸収できる若年層の人的資本形成を阻害し、将来に渡る経済成長に負の影響を及ぼすことや所得格差の拡大にもつながることが懸念される（太田 2010）。新卒者の就職を効果的に支援するためには、正社員への内定を得ることのできていない大学生の特性を明らかにすることが必要不可欠である。

本稿では、主たる仮説として正社員内定を決定づける要因が、学生のジョブ・サーチ活動そのもの（活動開始時期や応募先の選択基準）にあるのか、あるいは活動以前に学力や学力以外の能力・人的資本など個人の特性にあるのかを検証する。

無論、正社員への未内定者は各大学に一樣に分布しているわけではなく<sup>4</sup>、また、大学の属性（文系理系、偏差値レベル、公私立等）によって、内定未獲得者の特性も異なる可能性が考えられる。そこで本稿は、大学生個人の特性に関する情報を含むマイクロデータを用い、文系理系、大学区分、男女別等、さまざまなサンプルにおける大学生の正社員内定獲

<sup>1</sup> 本稿における進路未定者とは、（調査時点において）未だ企業からの内定を一つも得られていない内定未獲得者を指す。

<sup>2</sup> 男子の就職内定率は67.6%、女子は69.4%である。

<sup>3</sup> 当然ながら、非正社員や無業からキャリアを始めたとしても、正社員への道が閉ざされているわけではない。玄田（2008a）、玄田（2008b）、玄田（2009）、小杉（2010）、四方（2011）等、非正社員から正社員へ移動する道が開かれている可能性も示されつつある。

<sup>4</sup> 労働政策研究・研修機構（2010）によると、未就職者比率が30%を超える大学の特徴として、規模の小さい大学、国公立大学に比べ私立大学（特に設立年時の新しい私立大学）に多いことが示されている。

得要因をプロビットモデルにより推計し、各グループに属する学生に対する効果的な就職支援策の在り方についても考察したい。

本稿は以下のように構成される。続く2章では就職決定要因に関する先行研究を整理し、本稿における分析課題をまとめる。3章では、分析に用いるデータ、変数の定義や推計方法について述べる。4章は分析結果とその解釈、5章は結論である。

## 2. 先行研究と本稿の分析

2章では、大学生の就職決定要因に関する先行研究の結果と課題を整理し、これを受けて、本稿の分析課題を明らかにしたい。

先行研究における主たる論点の一つは、大学の入学難易度や大学での成績が内定や就職に与える影響である。まず、樋口（1994）は、23大学の社会科学系学部に対する独自調査を用いて、1990年における大学の入試偏差値が高い大学ほど5000人以上の大企業・官公庁への就職割合が高いことを見出している。次に、安部（1997）はリクルートリサーチ『大学別就職先しらべ』による60大学の人文・社会科学系学部の学生就職状況と『週刊ダイヤモンド』に掲載されている人気企業ベスト100とをマッチングさせたパネルデータを作成し、入試による選抜度よりもOBや教育等の大学固有の資産が人気企業への就職に寄与していることを示している。これらの研究では、大学や学部ごとに集計されたデータを用いて分析を行っており、大学や大学生個人の属性を十分にコントロールした分析がなされていないという課題がある。

こうした課題を克服した研究に永野（2004）、梅崎（2004）、佐藤ほか（2009）（2010）がある。

永野（2004）は、25大学33学部の大学4年生（88.9%が社会科学系）に対する独自調査を用いて、大学での成績、ゼミナールへの参加が就職活動の自己評価点にプラスの影響を与えることを見出している。また、梅崎（2004）は、ある国立大学の社会科学系学部の卒業生を対象に行われた独自調査を基に、成績の高かった学生、ゼミナールに参加していた学生ほど志望順位の高い企業に就職できたことを明らかにしている。さらに、佐藤ほか（2009）は、都内の大規模私立大学（人文系と社会科学系の学際領域）の4年生に対する独自調査を実施し、インターンシップへの参加やサークル・部活動への参加が内定獲得時期にプラスの影響を与えていることを明らかにしている。また、佐藤ほか（2010）は、同データを用いて、学生の就職活動プロセスを分析し、就職活動開始時の志望業界に固執するよりも、志望業界を変えたほうが内定時期も早くなり、内定数も増加する傾向を明らかにした。これらの研究では、個票データを用いることによって大学生個人の詳細な属性（学力等）をコントロールした分析が行われている半面、独自調査を用いているため、サンプルが特定の大学に偏り、大学や大学生の母集団を代表した分析にはなっていないことや、第三者による検証が難しいという課題がある。

このような研究の流れの中で、近年、小杉（2007a）、濱中（2007）、平沢（2010）等、全国規模の大学生をサンプルとする、第三者が検証可能なマイクロデータを用いた分析の蓄積が進みつつある。小杉（2007a）は、本稿の分析データである『大学生のキャリア展望と就職活動に関する実態調査』（労働政策研究・研修機構）を調査・収集し、これを用いて人文科学・社会科学系学部 zu 所属している大学4年生を対象に、2項ロジスティック分析によって、内定獲得学生と未内定学生及び内定獲得学生と無活動学生を分ける要因を推計している。その結果、友達との付き合い、クラブ・サークル、アルバイトといった学生生活に熱心な者ほど内定を得る傾向があり、この効果は学業成績よりも大きいことが示されている。また濱中（2007）も、同データを用いて、同じく人文・社会科学系学部（社会福祉学部を除く）の大学4年生を対象に、内定獲得時期までの期間についてイベントヒストリー分析（Cox 回帰分析）と、大企業への内定の有無を被説明変数とする2項ロジスティック分析を行っている。その結果、比較的偏差値の高い国立大学や私立大学においては、就職活動（企業説明会やセミナーへの参加）を「標準的な」時期より早期に開始することが内定獲得時期や大企業内定にプラスの効果をもたらすが、偏差値の低い私大においては同様の効果が確認されなかったことを示している。また、偏差値低位から中位の私大においては、大学での成績、クラブ・サークル活動、アルバイトやインターンシップに熱心であった学生ほど内定獲得が早い、偏差値高位の私大や国立大学では同様の効果は無いことを示している。

また、平沢（2010）は、東京大学社会科学研究所が実施している『若年壮年パネル調査』の2007年、2008年のデータを用いて、文系・理系問わず、大学の成績が大企業・公務員就職、職業威信スコア、希望の仕事に就くことにプラスの影響を与えることを示している。この研究では、全国規模のマイクロデータを用いて、より大学生の母集団に近いサンプルによる推計が行われている他、データが第三者に検証可能な形で公開されており、これまでの研究課題をある程度克服している。

以上のように、先行研究においては、主に人文・社会科学系学生を分析対象とし、大学の選抜制（入学難易度）や成績、クラブ・サークル活動、ゼミナール活動、インターンシップへの参加、説明会やセミナーへの早期の参加といった特性が、内定獲得・就職活動成功の決定要因であるとの結果が示されてきた<sup>5</sup>。

既存研究における検証を踏まえ、本稿は以下を主要な分析課題とする。

まず、就職活動の方法が正社員内定に与える影響について検証する。具体的には、①各学生のジョブ・サーチ活動の強度を表す指標として、さまざまな就職活動の相対的な開始時期の早さ、そして、②各学生のサーチ活動における応募先の選択基準が正社員内定獲得に与える影響について考察する。

<sup>5</sup> その他の要因として、堀（2007）は保護者の経済的援助が正社員内定にプラスの影響をもたらすこと、相談相手がないことは正社員内定にマイナスの影響をもたらすことが示されている。また、梅崎・田澤（2012）はインターネットによる独自調査を実施し、説明会等に参加し始めた時期が早い学生、エントリー数の多い学生の内定確率が高いことを示している。

特に②応募先の選択に関して、何らかのこだわりを強く持つ学生（賃金や待遇、企業ブランドや、希望する職種や仕事内容への強いこだわりなど）は、自身の客観的な能力と適合しない企業に偏ったサーチ活動を展開し、正社員内定が得にくくなる可能性が考えられる。例えば、海老原（2011）（2012）は、多くの大学生は採用市場における自身の「相場観」がないままに就職活動を開始し、揃って枠の小さな一部の人気大企業に応募する結果、大部分が落選する現状を指摘し、その上で、就職支援の最優先課題として、求人の豊富な中堅中小企業と大学生とのマッチングを高める施策の重要性を訴えている。また、先述の佐藤ほか（2010）では、志望業界に固執する学生が内定を得にくい傾向が示されている。本稿では、先行研究にて取り上げられている、企業ブランドや業界の他、学生が応募先を選ぶに当たり重視した10種の基準をダミー変数化し（定義については後述）、正社員内定への影響を調べた。続く章では、これら変数の中で内定獲得にマイナスの影響を与えていた基準を中心に結果を考察する。

次に、就職活動以外の内定要因として、大学生個人の能力（学力）や人的資本が正社員内定に与える影響に着目する。

まず、学力の指標としては、先行研究でも着目されていた大学での成績を分析に投入する。さらに、学力を含む人的資本の指標として、本稿では、近年政策的にも議論のテーマとなっている、入学経路（一般入試、一般・指定校推薦、AO入試）をコントロールする。

推薦・AO入試は、必ずしも学力考查を伴わない選抜方法であり、昨今、急速にその普及が進んでいる。大学入学者のうち一般入試入学者の割合は平成9年度の72.1%から平成24年度には56.2%に低下し、一方、AO・推薦入学者は43.3%にのぼる（文部科学省 2012）。中教審大学分科会答申（2008）<sup>6</sup>は、高校の教科の評定平均値を出願要件としているのは、推薦入試・AO入試の実施学部のうち、7割、1割に過ぎず、学力担保が疑問視されるとの調査結果を示した。その上で、2011年度入試からはAO入試に対しても学力把握措置<sup>7</sup>を課すなど、教育現場においては学力回帰への動きが高まりつつある。しかし、既存研究の結果は、このような「学力低下」を視座とする批判的見解とは、一概に一致するとは言えない。中教審と同様、一般入試入学者に比したAO入試入学者の学力不足の傍証を示す実証研究（大久保・金澤・倉元 2011）も存在する一方で、倉元・大津（2011）、林（2011）などは、一部大学における推薦・AO入学者は、一般入試入学者に比べ大学での成績、取得単位数、大学進学に対する目的意識（キャリア意識）が高いことを示しており、学力担保の程度は大学によっても差異があるものと推察される。本稿では、入口管理としての各入試形態の選抜機能の効果の一つの帰結として、それぞれの学生の就職内定結果を、大学区分別に比較検証したい。また、学力以外の人的資本形成に関する指標（クラブ・サークル活動、アルバイト等）も推計に導入する。

<sup>6</sup> 中央教育審議会答申（2008）「学士課程教育の構築に向けて」。

<sup>7</sup> 2011年度の「大学入学者選抜実施要項」では、AO入試について、基礎学力の状況を把握するため、①各大学実施の学力検査成績、②大学入試センター試験成績、③資格・検定試験成績、④高校の教科評定平均値の少なくとも1つを出願要件や可否判定に用いることが要求されるようになった。

さらに本稿では、サンプルを文系・理系、大学区分、男女別に分けた推計を行い、上記の要素がそれぞれのグループにおいて内定獲得にどのような影響を及ぼすかを考察する。とりわけ、既存研究においては、理系サンプルについて文系と並列した実証分析はいまだ蓄積が少ない<sup>8</sup>。本稿では、理系と文系の就職希望者の特性や就職活動プロセスの差異を踏まえて推計結果を考察したい。

例えば、理系では、成績優秀で、高い専門性を持つ学生は大学院へ進学する可能性がある。本稿データにおいても2005年秋における翌年4月予定進路が「大学院へ進学」である理系学生の割合は21.21%（文系は3.98%）であり、これら学生は、他の進路を予定する学生に比べ、成績や将来へのキャリア形成意識が高い傾向も観察される。さらに、理系は文系に比べ、大学の教育内容と就職後の職務内容との一致の程度が高い（平沢 1998）。よって、理系就職においては、応募先の選択基準として自身の専攻分野にこだわるのが（文系に比べ）内定に悪い影響を及ぼさない可能性も考えられる。さらに、企業側にとっても、学生の能力に関する詳細な情報を持つ学校側からの推薦応募に利がある（平沢 1998）。本稿データでも、内定先への応募経路が「教員や大学の推薦<sup>9</sup>」であった者の割合は理系で20.99%を占める一方、文系では3.81%に留まる<sup>10</sup>。推薦応募による応募先の選択基準は、自由応募学生の選択基準に比べて、学生の能力に関する大学や教員の客観的な評価を踏まえた指標となりうる。このような場合には、推薦の多い理系学生は、（文系に比べ）内定に悪影響を及ぼすような偏った選択基準を持ちにくい可能性もある。

これらの可能性を踏まえ、大学生の特性や就職活動が内定に及ぼす影響について、文理の差異を考察していきたい。

### 3. データと分析方法

本稿で使用するデータは、労働政策研究・研修機構が2005年10月に実施した『大学生のキャリア展望と就職活動に関する実態調査』の個票データである（以下、JILPT データと略す）。

JILPT データは、全国の4年制大学（医学・看護学・宗教学の単科大学を除く）のうち、調査協力を得られた276校の大学4年生を対象に実施されている（医学部、歯学部、看護学部の学生を除く）。調査は、各大学の就職部、キャリアセンターを通じて学生に配布され、調査票配布数は約49000票、有効回収数は18509票であった。

<sup>8</sup> 平沢（2010）は理系修士課程修了者も分析対象としている。本稿はデータの制約上、学部4年生を対象とした分析にとどまる。

<sup>9</sup> 内定前の提出、内定後の提出を含む。

<sup>10</sup> ただし、理系においても、昨今は自由応募による就職者が増加傾向にある。岩内・荻谷・平沢（1998）による1997年12月、翌年1月の調査では、1998年3月卒業予定の内定獲得者（文系理系各4大学、472人）のうち、理系の推薦応募は64.0%を占めた（文系は5.1%）が、株式会社ディスコ『就職活動モニター調査』（2005年度～2014年度版）では、理系（学部・修士卒）学生の就職内定者のうち、推薦応募者は、2005年度卒業生で34.04%、2014年度卒業生では27.97%にまで低下している。

JILPT データは、2005 年秋時点での翌年 4 月以降の予定進路が調査されている他、各大学生の就職活動の内容や開始時期に関する情報、また、大学での所属学部や入学経路、成績、アルバイトや大学生活における様々な活動等、学生個人の能力や特性に関する情報、加えて所属大学の偏差値区分や地域等も明らかにされており、進路選択や就職活動に影響を及ぼす諸要因を分析するに非常に優れたデータである。このデータを用いて、正社員内定に就職活動の内容や個人の能力・特性、大学の選抜度といった諸要因が及ぼす影響を明らかにする。

ただし、JILPT データの回収率は 37.8%で、また調査票は各大学の就職部やキャリアセンターを通じて学生に配布・回収されているため、全ての大学生をバイアスなく補足したサンプルとは言い切れない。就職部やキャリアセンターがコンタクトを取りやすいのは、既に内定を獲得している学生かもしれないし、反対に未定であるために足を運んでくる学生かもしれない。そこで、公式統計や先行研究のデータによる就職率・進学率と比較を試みた。

文部科学省『学校基本調査』によれば、平成 17 年度の文系学部卒業者のうち就職者の割合は 62.41%、進学者は 4.89%に対し<sup>11</sup>、JILPT データは就職 72.04%、進学 4.10%と、JILPT データサンプルはやや就職率が高く、進学率が低い。理系学部では、『学校基本調査』は就職 53.48%、進学 28.44%に対し、JILPT データは就職 69.58%、進学 21.20%とその差がかなり大きい。JILPT データの調査時点は大学 4 年時の 10 月であり、『学校基本調査』が翌年の 5 月であることを踏まえると、JILPT データの就職率（特に理系）はかなり高いと言える。この要因は調査票の配布回収方法によるものと考えられる。回収が内定学生に偏っていたり、サンプルが就職率の高い大学に偏っている可能性などが考えられる。

また、平沢（2010）で使用された『若年壮年パネル』と JILPT データにおける大学区分別の内定率も比較する。文系では、JILPT データの内定率は、私立偏差値 57 以上（90.52%）＞国立（81.62%）＞公立（80.91%）＞私立偏差値 46～56（75.32%）＞私立偏差値 45 以下（73.45%）の順に高く、理系では、公立（92.83%）＞私立偏差値 46～56（90.36%）＞私立偏差値 57 以上（88.45%）＞私立偏差値 45 以下（88.09%）＞国立（86.38%）の順に高い。『若年壮年パネル』では、文系の初職正社員確率は、銘柄大学以外の国公立（B 群）＞銘柄大学（A 群）＞主に戦前設立の私立（C 群）＞主に戦後設立の私立（D 群）の順に高く、理系では、主に戦後設立私立（D）＞主に戦前設立私立（C）＞銘柄大学（A）＞銘柄大学以外の国公立（B）の順に高かった（平沢 2010 p.75）<sup>12</sup>。したがって、文系では大よそ入学難易度と正社員内定率が連動しているのに対し、理系ではあまり連動していない傾向が、『若年壮年パネル』においても JILPT データにおいても観察される。先述のとおり、理

<sup>11</sup> 平成 26 年度は文系が就職 74.79%、進学 4.44%に対し、理系は就職 58.67%、進学 26.10%であった。

<sup>12</sup> 梅崎・田澤（2012）で用いられている独自調査では、文理計の結果として、難関大（「難関国公立大学」、「難関私立大学」）の内定率（87%）の方が非難関大（「一般国公立大学」、「一般私立大学」）の内定率（84%）よりも高いという結果が出ている。

系の学生の大学院進学率が高いことなどが影響していると推察される<sup>13</sup>。本稿の結果は、特に理系サンプルにおいて上記のバイアスが生じている可能性から、就職者に偏った限定的な考察であることに留意されたい。

本稿の分析で用いる各変数の定義は以下の通りである。

### 被説明変数

被説明変数は、2005 年秋時点での翌年 4 月以降の予定進路である<sup>14</sup>。進路に関する選択肢は 11 あるが、これらを次のように 2 値変数にまとめた。

具体的には、「正社員」（「民間企業に正社員として内定」）を 1、「非正社員」（「民間企業に内定（新卒派遣／契約社員として）」＋「パート・アルバイト」）及び「未定」を 0 とするダミー変数を被説明変数とする。

なお、進路未定者は、調査時点において企業から一つの内定も得られていない内定未獲得者に限定する。JILPT データにおいては、翌年 4 月以降の進路を「未定」とする学生の中には、「内定をもらったが、まだ就職活動を続けている」学生、「内定をもらったので、就職活動をやめた」学生が含まれているためこれらはサンプルから除いた。また、「公務員／教員に正職員として内定」、「公務員／教員に内定（非常勤／臨時職員として）」、「自営業／家業を継ぐ」、「専門学校へ進学」、「大学院へ進学」、「留年」、「その他」を予定進路とする学生もサンプルから除いた<sup>15</sup>。また、社会福祉系学部、教育学部に属する学生もサンプルから除いた。福祉系職業の採用試験の多くは、中途採用試験と同じく着任時期近くに行われることが多いため、調査時点である 10 月において、本命となる職業の内定状況が確定している社会福祉系学生は少ないものと考えられる。また同様に教員採用試験も、10 月時点では地域によって最終的な採用結果が決定されていない。よって、この二つの学部に属する学生については、「内定未定」の意味するところが他の学生と異なる可能性が高く、同時に分析することは適切ではないと判断した。

<sup>13</sup> あるいは、調査の実施方法やサンプリングの取り方なども内定率や就職率に影響を与えている可能性がある。この点に関しては、上田（2012）が詳しい。

<sup>14</sup> 秋時点での予定進路と 4 月以降の実際の進路は異なる可能性がある。特に、偏差値の低い大学群の学生は中小企業への就職が多く、内定獲得時期が遅くなるため、推計結果については一定の留意が必要である。一方で、小杉（2007b）は秋時点で非正社員や未定となっている学生は卒業後も正社員への定着確率が低いことを示しており、両者は相関すると考えられるため、秋時点での進路予定状況を用いた分析に一定の意義があるものとする。

<sup>15</sup> 本稿における分析対象である、留学生及び就職活動を始めから行っていない学生を除く、26 歳未満の大学 4 年生のうち、「公務員／教員に正職員として内定」、「公務員／教員に内定（非常勤／臨時職員として）」、「自営業／家業を継ぐ」、「専門学校へ進学」、「大学院へ進学」、「留年」、「その他」を予定進路とする学生の割合は、それぞれ 4.29%、1.48%、0.38%、0.57%、2.74%、0.27%、0.66%である。

## 説明変数

まず、各大学生のジョブ・サーチ活動の強度を表す指標として、「就職活動の開始時期」の早さを示す説明変数を次のように作成した。具体的には、「大学就職部主催のガイダンスへの参加」、「自己分析」、「就職支援サイトへの登録」、「資料請求」、「企業説明会やセミナーへの出席」、「エントリーシートの提出」、「OB・OG への連絡」という 7 種類の活動について、それぞれの活動を開始した学年・月から起算した調査時点（大学 4 年 10 月）までの月数を変数値とする。これら変数は、数値が大きいほど早くから各活動を開始したことを意味し、また調査時点までに活動を行っていない場合には値は 0 となる<sup>16</sup>。

次に、各学生のサーチ活動における、応募先の選択基準を説明変数に導入する。就職先に求める条件に何らかの強いこだわりを持つ学生は、自らサーチの選択肢を狭めることで内定獲得を困難にする可能性が考えられる。本研究では下記の指標を応募先の選択基準を示す変数として推計に導入した。

JILPT データでは「あなたは応募先を選ぶとき、どのような条件を重視しましたか」という設問があり、10 の選択肢から 1 位から 3 位までの 3 項目を選択する仕組みになっている。選択肢の内容は順に、「1. 大学での専門分野との関連」「2. 企業の業種・仕事内容」「3. 企業の知名度」「4. 企業の将来性・安定性」「5. 正社員かどうか」「6. OB・OG の有無や定着度の高さ」「7. 勤務時間・休暇・福利厚生など」「8. 給料」「9. 地域条件（勤務地・転職の有無など）」「10. 自分の能力や適性と合っていること」である。限定された 10 の選択肢の中から 3 項目を選びだす設計のため、ある選択肢が選定されているか否かは、他の 9 つの選択肢の選定の是非によって自明である（1 次従属）。よって、10 の選択肢それぞれの選定の是非（選定＝1、非選定＝0）を示す 10 のダミー変数を同時に推計に投入すれば完全な多重共線を招く。これを回避するため、本稿の推計では、10 の選択肢をそれぞれダミー変数化し<sup>17</sup>、それらの変数を個々に推計に投入して正社員内定との関係を分析した。本稿には、正社員内定に有意にマイナスの影響が観察された、「自分の能力や適性と合っていること」を説明変数に導入した推計を表 4-3 で掲載し、その他の各ダミー変数の係数値は、表 4-4 に掲載した。

また、ジョブ・サーチ活動そのものの内容以外に、その活動結果に影響を及ぼす人的資本要因として、「取得単位のうち優 (A) の割合」、「大学生活で熱心に行ったこと (5 変数)」、「大学の区分 (偏差値・設置主体)」、「大学への入学経路」を説明変数に導入する。

<sup>16</sup> サーチ活動を早く開始することが、必ずしもその充実を意味するとは限らないという見解もある。そこで、「就職活動の自己評価点（満点：100 点）」を被説明変数とし、本稿推計と同様の推計を行ったが、主要な結果に差異はなかった。また、7 種の各就職活動について、「行った」か「行っていない」かを示す 2 値変数を作り、「就職活動の開始時期」の代わりにこれらを用いて、本稿推計と同様の分析を行ったが、これについても主要な結果に差異はなかった。なお、データの制約から、学生が留年や休学をしている場合には重複した年月を考慮できていない。

<sup>17</sup> 任意の 1 つのダミー変数をレファレンスとして、残りの 9 つのダミー変数を同時に推計に投入する方法も試みたが、必ず一部の変数の推計値が欠落し、文系理系ともに大学区分別の推計において多重共線性を回避することができなかった。そこで、ダミー変数を 1 つずつ個別に投入する推計を行った。

さらに、上記の変数では捕捉できない、大学生個人のキャリア形成への意識や嗜好を表す指標として、「大学入学時のキャリア形成志向」を説明変数に導入する。同変数は、「大学や学部を選ぶときに、卒業後に就きたい仕事のことを考慮した」という設問に対して、「よくあてはまる」を4、「まああてはまる」を3、「あまりあてはまらない」を2、「まったくあてはまらない」を1とする変数と「目的はあまり考えずに、とりあえず大学に進学してみようと思った」という設問に対して「よくあてはまる」を1、「まああてはまる」を2、「あまりあてはまらない」を3、「まったくあてはまらない」を4とする変数の二つの合計値とする。最後に、コントロール変数として「女性ダミー」、「年齢」、「学部」、「出身大学の地域」を説明変数に導入する。

### 推計方法

本稿では、翌年4月以降の予定進路について、正社員への内定者を1、非正社員への内定者と進路未定者を0とするプロビット分析を行う。推計では、文系理系別、男女別、さらに大学区分別に分析を行う。JILPTデータでは、代々木ゼミナールの偏差値ランキングを用いて、私立偏差値45以下、私立偏差値46-56、私立偏差値57以上、国立、公立の5区分を設定している。なお、推計に用いるサンプルは、留学生を除く26歳未満とし、就職活動を始めから行っていない者もサンプルから除いた。

## 4. 分析結果：正社員内定に関するプロビット分析

分析に先立ち、性別や文系理系、大学区分、入学経路等の区分ごとに翌年4月以降の予定進路をまとめたものが表4-1である。

これによれば、理系学部サンプルは文系よりも正社員内定率が高く、また文系・理系ともに、男性よりも女性に非正社員や未定者が多い。大学区分では、私立の文系学部においては偏差値が高いほど正社員内定者が多い傾向が確認されるが、理系についてはこうした傾向はみられない。また、入学経路についても、私立の文系学部では、「AO入試」、「推薦入試」による入学者は「一般入試」の入学者に比べ正社員内定者が少ない傾向にあるが、理系については同様の傾向は確認できない。

次に、大学4年生の翌年4月以降の予定進路状況についてプロビット分析を行った結果が表4-3である（分析に用いた主な変数の記述統計量は表4-2を参照）。上段は文系サンプル、下段が理系サンプルによる推計結果である。

まず、「就職活動の開始時期」について、上段の文系サンプルにおいては、「企業説明会やセミナーなどに出席」が文系全、私立偏差値45以下、私立偏差値46-56、公立大学、女子学生において5%水準以下で有意にプラスであり、「エントリーシートを提出」も私立偏差値57以上と公立以外の全グループにおいて5%水準以下で有意にプラス、「就職支援サ

イト（リクナビなど）に登録」も文系全、私立偏差値 46-56 において 5%水準以下で有意にプラス、また近年、盛んに行われることの少なくなった「OB・OG への連絡」も、文系全、私立偏差値 46-56、国立、女子学生において 1%水準で正社員内定へプラスの効果が見出された。よって、文系においては、これら情報収集や一次選考活動を、他者に比べて早期に開始した学生は正社員内定を得やすい傾向が観察され、とりわけ私立中位校、女子学生において、その影響が大きい可能性が示唆された。

表4-1 各属性ごとの翌年4月以降に予定している進路

| 性別    |     | 翌年4月以降の予定進路 |         |        |        |         |        |
|-------|-----|-------------|---------|--------|--------|---------|--------|
|       |     | 文系サンプル      |         |        | 理系サンプル |         |        |
|       |     | 正社員         | 非正社員・未定 | Total  | 正社員    | 非正社員・未定 | Total  |
| 男性    | (人) | 2,695       | 561     | 3,256  | 2,276  | 242     | 2,518  |
|       | (%) | 82.77       | 17.26   | 100.00 | 90.39  | 9.61    | 100.00 |
| 女性    | (人) | 3,803       | 1,367   | 5,170  | 939    | 163     | 1,102  |
|       | (%) | 73.56       | 26.44   | 100.00 | 85.21  | 14.79   | 100.00 |
| Total | (人) | 6,498       | 1,928   | 8,426  | 3,215  | 405     | 3,620  |
|       | (%) | 77.12       | 22.88   | 100.00 | 88.81  | 11.19   | 100.00 |

| 大学区分           |     | 翌年4月以降の予定進路 |         |        |        |         |        |
|----------------|-----|-------------|---------|--------|--------|---------|--------|
|                |     | 文系サンプル      |         |        | 理系サンプル |         |        |
|                |     | 正社員         | 非正社員・未定 | Total  | 正社員    | 非正社員・未定 | Total  |
| 私立 偏差値<br>57以上 | (人) | 544         | 57      | 601    | 268    | 35      | 303    |
|                | (%) | 90.52       | 9.48    | 100.00 | 88.45  | 11.55   | 100.00 |
| 私立 46～56       | (人) | 3,174       | 1,040   | 4,214  | 1,068  | 114     | 1,182  |
|                | (%) | 75.32       | 24.68   | 100.00 | 90.36  | 9.64    | 100.00 |
| 私立 45以下        | (人) | 1,466       | 530     | 1,996  | 799    | 108     | 907    |
|                | (%) | 73.45       | 26.55   | 100.00 | 88.09  | 11.91   | 100.00 |
| 国立             | (人) | 697         | 157     | 854    | 812    | 128     | 940    |
|                | (%) | 81.62       | 18.38   | 100.00 | 86.38  | 13.62   | 100.00 |
| 公立             | (人) | 623         | 147     | 770    | 272    | 21      | 293    |
|                | (%) | 80.91       | 19.09   | 100.00 | 92.83  | 7.17    | 100.00 |
| Total          | (人) | 6,504       | 1,931   | 8,435  | 3,219  | 406     | 3,625  |
|                | (%) | 77.11       | 22.89   | 100.00 | 88.80  | 11.20   | 100.00 |

| 入学経路  |     | 翌年4月以降の予定進路 |         |        |        |         |        |
|-------|-----|-------------|---------|--------|--------|---------|--------|
|       |     | 文系サンプル      |         |        | 理系サンプル |         |        |
|       |     | 正社員         | 非正社員・未定 | Total  | 正社員    | 非正社員・未定 | Total  |
| 一般入試  | (人) | 3,338       | 850     | 4,188  | 1,853  | 238     | 2,091  |
|       | (%) | 79.70       | 20.30   | 100.00 | 88.62  | 11.38   | 100.00 |
| AO入試  | (人) | 233         | 84      | 317    | 103    | 13      | 116    |
|       | (%) | 73.50       | 26.50   | 100.00 | 88.79  | 11.21   | 100.00 |
| 推薦入試  | (人) | 2,417       | 850     | 3,267  | 1,129  | 143     | 1,272  |
|       | (%) | 73.98       | 26.02   | 100.00 | 88.76  | 11.24   | 100.00 |
| その他   | (人) | 500         | 139     | 639    | 133    | 12      | 145    |
|       | (%) | 78.25       | 21.75   | 100.00 | 91.72  | 8.28    | 100.00 |
| Total | (人) | 6,488       | 1,923   | 8,411  | 3,218  | 406     | 3,624  |
|       | (%) | 77.14       | 22.86   | 100.00 | 88.80  | 11.20   | 100.00 |

(注)「正社員」は「民間企業へ内定(正社員として)」、「非正社員」は「民間企業へ内定(新卒派遣／契約社員)」+「パート・アルバイト」である。「推薦入試」は「一般推薦入試」+「指定校推薦入試」である。

表 4-2 記述統計量

| 説明変数                            | 翌年4月以降の予定進路 |         |        |         | 説明変数  | 翌年4月以降の予定進路                     |         |        |         |       |
|---------------------------------|-------------|---------|--------|---------|-------|---------------------------------|---------|--------|---------|-------|
|                                 | 文系サンプル      |         | 理系サンプル |         |       | 文系サンプル                          |         | 理系サンプル |         |       |
|                                 | 正社員         | 非正社員・未定 | 正社員    | 非正社員・未定 |       | 正社員                             | 非正社員・未定 | 正社員    | 非正社員・未定 |       |
| 就職活動の開始時期<br>大学就職部主催のガイダンスに参加   | n           | 6,449   | 1,901  | 3,197   | 401   | 年齢                              | n       | 6,504  | 1,931   | 406   |
|                                 | 平均値         | 13.18   | 12.27  | 10.98   | 10.19 |                                 | 平均値     | 21.74  | 21.71   | 21.89 |
|                                 | 標準偏差        | 7.13    | 8.06   | 6.28    | 7.28  |                                 | 標準偏差    | 0.65   | 0.65    | 0.78  |
|                                 | 最大値         | 43.00   | 43.00  | 43.00   | 37.00 |                                 | 最大値     | 25.00  | 25.00   | 25.00 |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 21.00   | 21.00  | 21.00   |       |
| 就職活動の開始時期<br>(就職活動のための)自己分析     | n           | 6,462   | 1,912  | 3,204   | 402   | 優(A)の取得割合                       | n       | 6,400  | 1,876   | 398   |
|                                 | 平均値         | 9.67    | 8.44   | 8.51    | 7.11  |                                 | 平均値     | 5.50   | 5.48    | 4.91  |
|                                 | 標準偏差        | 5.45    | 6.54   | 5.79    | 6.03  |                                 | 標準偏差    | 2.28   | 2.28    | 2.15  |
|                                 | 最大値         | 43.00   | 43.00  | 43.00   | 31.00 |                                 | 最大値     | 10.00  | 10.00   | 10.00 |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 0.00    | 0.00   | 0.00    |       |
| 就職活動の開始時期<br>就職支援サイト(リクナビなど)に登録 | n           | 6,484   | 1,917  | 3,205   | 402   | 大学生活の間に熱心に行った活動<br>アルバイト        | n       | 6,476  | 1,919   | 406   |
|                                 | 平均値         | 11.61   | 9.92   | 10.73   | 9.47  |                                 | 平均値     | 2.98   | 2.82    | 2.73  |
|                                 | 標準偏差        | 3.41    | 4.78   | 3.85    | 5.03  |                                 | 標準偏差    | 0.92   | 0.99    | 0.98  |
|                                 | 最大値         | 43.00   | 31.00  | 29.00   | 20.00 |                                 | 最大値     | 4.00   | 4.00    | 4.00  |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 1.00    | 1.00   | 1.00    |       |
| 就職活動の開始時期<br>インターネットやはがきなどで資料請求 | n           | 6,467   | 1,908  | 3,199   | 402   | 大学生活の間に熱心に行った活動<br>クラブやサークルでの活動 | n       | 6,470  | 1,917   | 404   |
|                                 | 平均値         | 7.51    | 5.62   | 6.30    | 4.66  |                                 | 平均値     | 2.40   | 2.15    | 2.36  |
|                                 | 標準偏差        | 5.54    | 5.77   | 5.47    | 5.80  |                                 | 標準偏差    | 1.18   | 1.15    | 1.17  |
|                                 | 最大値         | 37.00   | 42.00  | 21.00   | 19.00 |                                 | 最大値     | 4.00   | 4.00    | 4.00  |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 1.00    | 1.00   | 1.00    |       |
| 就職活動の開始時期<br>企業説明会やセミナーなどに出席    | n           | 6,473   | 1,917  | 3,201   | 403   | 大学生活の間に熱心に行った活動<br>友だちや恋人との付き合い | n       | 6,486  | 1,924   | 406   |
|                                 | 平均値         | 9.25    | 7.40   | 8.60    | 6.84  |                                 | 平均値     | 3.28   | 3.16    | 3.20  |
|                                 | 標準偏差        | 3.06    | 4.25   | 3.18    | 4.24  |                                 | 標準偏差    | 0.72   | 0.76    | 0.74  |
|                                 | 最大値         | 37.00   | 29.00  | 22.00   | 19.00 |                                 | 最大値     | 4.00   | 4.00    | 4.00  |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 1.00    | 1.00   | 1.00    |       |
| 就職活動の開始時期<br>エントリーシートを提出        | n           | 6,476   | 1,911  | 3,198   | 401   | 大学生活の間に熱心に行った活動<br>ダブルスクール・資格取得 | n       | 6,469  | 1,916   | 405   |
|                                 | 平均値         | 8.22    | 6.06   | 7.35    | 5.44  |                                 | 平均値     | 2.02   | 2.03    | 1.62  |
|                                 | 標準偏差        | 3.46    | 4.62   | 3.71    | 4.62  |                                 | 標準偏差    | 1.00   | 1.00    | 0.83  |
|                                 | 最大値         | 37.00   | 37.00  | 19.00   | 19.00 |                                 | 最大値     | 4.00   | 4.00    | 4.00  |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 1.00    | 1.00   | 1.00    |       |
| 就職活動の開始時期<br>OB・OGへの連絡          | n           | 6,130   | 1,829  | 2,994   | 372   | 大学生活の間に熱心に行った活動<br>インターンシップ     | n       | 6,468  | 1,911   | 405   |
|                                 | 平均値         | 2.03    | 0.94   | 1.33    | 0.89  |                                 | 平均値     | 1.54   | 1.45    | 1.48  |
|                                 | 標準偏差        | 4.25    | 3.23   | 3.40    | 2.91  |                                 | 標準偏差    | 0.95   | 0.85    | 0.88  |
|                                 | 最大値         | 43.00   | 43.00  | 28.00   | 19.00 |                                 | 最大値     | 4.00   | 4.00    | 4.00  |
|                                 | 最小値         | 0.00    | 0.00   | 0.00    | 0.00  | 最小値                             | 1.00    | 1.00   | 1.00    |       |
| 大学入学時のキャリア形成志向                  | n           | 6,462   | 1,917  | 3,200   | 405   | 自分の能力や適性と合っていること                | n       | 6,504  | 1,931   | 406   |
|                                 | 平均値         | 5.15    | 5.23   | 5.68    | 5.49  |                                 | 平均値     | 0.43   | 0.49    | 0.33  |
|                                 | 標準偏差        | 1.71    | 1.77   | 1.68    | 1.77  |                                 | 標準偏差    | 0.50   | 0.50    | 0.47  |
|                                 | 最大値         | 8.00    | 8.00   | 8.00    | 8.00  |                                 | 最大値     | 1.00   | 1.00    | 1.00  |
|                                 | 最小値         | 2.00    | 2.00   | 2.00    | 2.00  | 最小値                             | 0.00    | 0.00   | 0.00    |       |

表 4-3 大学生の正社員の規定要因についてのプロビット分析

| 文系サンプル                      |  |  | 文系全サンプル |           |     | 私立 偏差値45以下 |           |     | 私立 偏差値46~56 |           |     | 私立 偏差値57以上 |           |     | 国立     |           |     | 公立     |           |    | 文系女子全  |           |  |
|-----------------------------|--|--|---------|-----------|-----|------------|-----------|-----|-------------|-----------|-----|------------|-----------|-----|--------|-----------|-----|--------|-----------|----|--------|-----------|--|
|                             |  |  | Coef.   | Std. Err. |     | Coef.      | Std. Err. |     | Coef.       | Std. Err. |     | Coef.      | Std. Err. |     | Coef.  | Std. Err. |     | Coef.  | Std. Err. |    | Coef.  | Std. Err. |  |
| 就職活動の開始時期                   |  |  |         |           |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    |        |           |  |
| 大学就職部主催のガイダンスに参加            |  |  | 0.002   | 0.003     |     | -0.002     | 0.005     |     | 0.002       | 0.004     |     | -0.002     | 0.017     |     | -0.014 | 0.010     |     | 0.016  | 0.011     |    | 0.003  | 0.003     |  |
| (就職活動のための)自己分析              |  |  | -0.005  | 0.004     |     | -0.006     | 0.006     |     | -0.007      | 0.005     |     | -0.001     | 0.020     |     | 0.003  | 0.013     |     | -0.003 | 0.015     |    | -0.001 | 0.004     |  |
| 就職支援サイト(リクナビなど)に登録          |  |  | 0.014   | 0.006     | **  | 0.011      | 0.011     |     | 0.022       | 0.008     | *** | -0.026     | 0.032     |     | 0.012  | 0.020     |     | 0.013  | 0.021     |    | 0.009  | 0.007     |  |
| インターネットやはがきなどで資料請求          |  |  | 0.007   | 0.004     | *   | 0.004      | 0.007     |     | 0.004       | 0.005     |     | 0.038      | 0.015     | *   | 0.006  | 0.012     |     | -0.001 | 0.012     |    | 0.007  | 0.004     |  |
| 企業説明会やセミナーなどに出席             |  |  | 0.036   | 0.007     | *** | 0.036      | 0.014     | *** | 0.037       | 0.010     | *** | 0.013      | 0.036     |     | 0.024  | 0.025     |     | 0.053  | 0.025     | ** | 0.034  | 0.009     |  |
| エントリーシートを提出                 |  |  | 0.043   | 0.007     | *** | 0.023      | 0.011     | **  | 0.051       | 0.009     | *** | 0.067      | 0.047     |     | 0.095  | 0.024     | *** | 0.001  | 0.024     |    | 0.037  | 0.008     |  |
| OB・OGへの連絡                   |  |  | 0.024   | 0.006     | *** | 0.012      | 0.011     |     | 0.031       | 0.008     | *** | 0.009      | 0.021     |     | 0.051  | 0.018     | *** | 0.017  | 0.019     |    | 0.023  | 0.007     |  |
| 自分の能力や適性と合っていること            |  |  | -0.182  | 0.035     | *** | -0.026     | 0.069     |     | -0.225      | 0.048     | *** | -0.548     | 0.176     | *** | -0.203 | 0.120     | *   | -0.248 | 0.122     | ** | -0.205 | 0.042     |  |
| 取得単位のうち優(A)の割合              |  |  | 0.019   | 0.008     | **  | 0.035      | 0.017     | **  | 0.007       | 0.012     |     | 0.062      | 0.044     |     | -0.006 | 0.032     |     | 0.069  | 0.034     | ** | 0.029  | 0.010     |  |
| 私立大学:偏差値57以上【私立大学:偏差値46~56】 |  |  | 0.431   | 0.084     | *** |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | 0.411  | 0.095     |  |
| 私立大学:偏差値45以下                |  |  | -0.076  | 0.048     |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | -0.118 | 0.065     |  |
| 国立大学                        |  |  | 0.065   | 0.069     |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | 0.071  | 0.088     |  |
| 公立大学                        |  |  | 0.203   | 0.071     | *** |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | 0.116  | 0.082     |  |
| AO入試【一般入試】                  |  |  | -0.140  | 0.092     |     | -0.085     | 0.125     |     | -0.140      | 0.155     |     | -0.771     | 0.612     |     | -0.334 | 0.671     |     | -0.290 | 0.146     | ** | -0.206 | 0.125     |  |
| 一般推薦・指定校推薦                  |  |  | -0.103  | 0.038     | *** | -0.054     | 0.079     |     | -0.121      | 0.051     | **  | -0.028     | 0.204     |     | -0.050 | 0.161     |     | -0.667 | 0.388     | *  | -0.095 | 0.046     |  |
| その他                         |  |  | -0.067  | 0.068     |     | -0.055     | 0.138     |     | -0.098      | 0.090     |     | 0.366      | 0.304     |     | -0.263 | 0.285     |     | -0.667 | 0.388     | *  | -0.056 | 0.081     |  |
| 理系サンプル                      |  |  |         |           |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    |        |           |  |
| 理系全サンプル                     |  |  | Coef.   | Std. Err. |     | 私立 偏差値45以下 |           |     | 私立 偏差値46~56 |           |     | 私立 偏差値57以上 |           |     | 国立     |           |     | 公立     |           |    | 理系女子全  |           |  |
|                             |  |  | Coef.   | Std. Err. |     | Coef.      | Std. Err. |     | Coef.       | Std. Err. |     | Coef.      | Std. Err. |     | Coef.  | Std. Err. |     | Coef.  | Std. Err. |    | Coef.  | Std. Err. |  |
| 就職活動の開始時期                   |  |  |         |           |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    |        |           |  |
| 大学就職部主催のガイダンスに参加            |  |  | -0.002  | 0.006     |     | 0.010      | 0.012     |     | -0.017      | 0.010     | *   | 0.023      | 0.022     |     | 0.006  | 0.010     |     | -0.071 | 0.032     | ** | -0.007 | 0.009     |  |
| (就職活動のための)自己分析              |  |  | 0.009   | 0.006     |     | -0.002     | 0.009     |     | 0.014       | 0.013     |     | 0.003      | 0.026     |     | 0.026  | 0.013     | **  | 0.001  | 0.046     |    | 0.023  | 0.012     |  |
| 就職支援サイト(リクナビなど)に登録          |  |  | -0.015  | 0.010     |     | -0.020     | 0.017     |     | -0.031      | 0.021     |     | -0.038     | 0.039     |     | 0.007  | 0.018     |     | 0.074  | 0.060     |    | -0.035 | 0.017     |  |
| インターネットやはがきなどで資料請求          |  |  | 0.013   | 0.007     | **  | 0.019      | 0.012     |     | 0.016       | 0.013     |     | 0.028      | 0.029     |     | 0.012  | 0.013     |     | -0.006 | 0.031     |    | 0.019  | 0.012     |  |
| 企業説明会やセミナーなどに出席             |  |  | 0.043   | 0.012     | *** | 0.044      | 0.021     | **  | 0.050       | 0.022     | **  | 0.043      | 0.051     |     | 0.078  | 0.021     | *** | -0.073 | 0.053     |    | 0.072  | 0.020     |  |
| エントリーシートを提出                 |  |  | 0.033   | 0.011     | *** | 0.005      | 0.016     |     | 0.048       | 0.021     | **  | 0.051      | 0.040     |     | 0.024  | 0.024     |     | 0.121  | 0.054     | ** | 0.042  | 0.019     |  |
| OB・OGへの連絡                   |  |  | 0.011   | 0.011     |     | -0.052     | 0.022     | **  | 0.009       | 0.018     |     | 0.041      | 0.040     |     | 0.048  | 0.024     | **  | 0.119  | 0.051     | ** | 0.031  | 0.019     |  |
| 自分の能力や適性と合っていること            |  |  | -0.082  | 0.066     |     | -0.081     | 0.130     |     | -0.069      | 0.124     |     | -0.816     | 0.255     | *** | 0.004  | 0.132     |     | 0.078  | 0.347     |    | -0.016 | 0.111     |  |
| 取得単位のうち優(A)の割合              |  |  | 0.022   | 0.016     |     | -0.028     | 0.029     |     | 0.041       | 0.029     |     | 0.018      | 0.055     |     | 0.074  | 0.032     | **  | 0.061  | 0.081     |    | 0.025  | 0.027     |  |
| 私立大学:偏差値57以上【私立大学:偏差値46~56】 |  |  | -0.108  | 0.125     |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | -0.409 | 0.193     |  |
| 私立大学:偏差値45以下                |  |  | -0.015  | 0.117     |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | 0.098  | 0.286     |  |
| 国立大学                        |  |  | 0.289   | 0.129     | **  |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | 0.641  | 0.206     |  |
| 公立大学                        |  |  | 0.160   | 0.157     |     |            |           |     |             |           |     |            |           |     |        |           |     |        |           |    | -0.095 | 0.306     |  |
| AO入試【一般入試】                  |  |  | -0.095  | 0.182     |     | 0.036      | 0.251     |     | 0.068       | 0.366     |     |            |           |     | -0.653 | 0.586     |     |        |           |    | -0.032 | 0.413     |  |
| 一般推薦・指定校推薦                  |  |  | -0.055  | 0.071     |     | -0.250     | 0.144     | *   | 0.147       | 0.134     |     | -0.095     | 0.269     |     | 0.278  | 0.179     |     | -0.483 | 0.291     | *  | 0.083  | 0.136     |  |
| その他                         |  |  | 0.023   | 0.173     |     | 0.085      | 0.299     |     | 0.316       | 0.303     |     |            |           |     | -0.593 | 0.325     | *   |        |           |    | -0.177 | 0.321     |  |

(注1) サンプルは、留学生を除く6歳未満の文系学部/の大学4年生である。(注2) \*\*\*は1%水準、\*\*は5%水準、\*は10%水準で統計的に有意であることを示す。(注3) 【】内は、各ダミー変数のレファレンスグループである。

(注4) 被説明変数は、「正社員」「民間企業へ内定(正社員として)」を「1」、「非正社員」「民間企業へ内定(新卒派遣/契約社員)」+「パート・アルバイト」及び「退職未定者」を「0」とする2値変数である。

(注5) 説明変数には出身大学の地域が含まれている。(注6) 標準誤差はすべてwhiteによる頑健標準誤差である。

表 4-3 (続き) 大学生の正社員の規定要因についてのプロビット分析

| 文系サンプル         | 文系全サンプル   |           |     | 私立偏差値45以下 |           |     | 私立偏差値46-56 |           |     | 私立偏差値57以上 |           |     | 国立       |           |     | 公立       |           |     | 文系女子全     |           |     |
|----------------|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|------------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|----------|-----------|-----|----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|
|                | Coef.     | Std. Err. |     | Coef.     | Std. Err. |     | Coef.      | Std. Err. |     | Coef.     | Std. Err. |     | Coef.    | Std. Err. |     | Coef.    | Std. Err. |     | Coef.     | Std. Err. |     |
| 説明変数           |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 大学生生活で熱心に行ったこと |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| クラブやサークルでの活動   | 0.058     | 0.015     | *** | 0.033     | 0.031     |     | 0.049      | 0.021     | **  | 0.149     | 0.079     | *   | 0.112    | 0.052     | **  | 0.012    | 0.057     |     | 0.052     | 0.019     | *** |
| 友だちや恋人との付き合い   | 0.066     | 0.025     | *** | 0.037     | 0.047     |     | 0.098      | 0.035     | *** | 0.102     | 0.122     |     | -0.066   | 0.086     |     | 0.083    | 0.093     |     | 0.064     | 0.033     | **  |
| ダブルスクール・資格取得   | -0.022    | 0.019     |     | 0.012     | 0.037     |     | 0.006      | 0.026     |     | -0.144    | 0.083     | *   | -0.178   | 0.068     | *** | -0.151   | 0.071     | **  | -0.028    | 0.022     |     |
| インターンシップ       | 0.024     | 0.020     |     | 0.014     | 0.039     |     | 0.024      | 0.028     |     | 0.151     | 0.107     |     | -0.032   | 0.069     |     | 0.075    | 0.075     |     | 0.011     | 0.024     |     |
| アルバイト          | 0.084     | 0.019     | *** | 0.117     | 0.033     | *** | 0.049      | 0.027     | *   | -0.047    | 0.118     |     | 0.172    | 0.071     | **  | 0.228    | 0.077     | *** | 0.089     | 0.024     | *** |
| 大学入学時のキャリア形成志向 |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 女性ダミー          | 0.029     | 0.011     | *** | 0.050     | 0.021     | **  | 0.028      | 0.015     | *   | -0.109    | 0.051     | **  | 0.075    | 0.037     | **  | 0.055    | 0.041     |     | 0.012     | 0.013     |     |
| 年齢             | -0.289    | 0.045     | *** | -0.375    | 0.086     | *** | -0.234     | 0.069     | *** | -0.223    | 0.228     |     | -0.047   | 0.137     |     | -0.762   | 0.169     | *** |           |           |     |
| 商経【人文科学】       |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 法学             | 0.250     | 0.047     | *** | 0.234     | 0.109     | **  | 0.269      | 0.070     | *** | 0.588     | 0.217     | **  | 0.427    | 0.162     | *** | 0.342    | 0.177     | *   | 0.308     | 0.080     | *** |
| 家政・生活科学        | 0.124     | 0.069     | *   | 0.098     | 0.156     |     | 0.148      | 0.096     |     | 0.406     | 0.266     |     | 0.399    | 0.214     | *   | -0.059   | 0.533     |     | 0.288     | 0.100     | *** |
| 芸術             | 0.077     | 0.064     |     | 0.305     | 0.196     |     | 0.078      | 0.076     |     |           |           |     |          |           |     | -0.441   | 0.299     |     | 0.117     | 0.087     | *   |
| 政策・社会・その他社会科学  | -0.359    | 0.075     | *** | -0.376    | 0.135     | *** | -0.371     | 0.121     | *** | 0.170     | 0.598     |     | -0.038   | 0.258     |     | -0.773   | 0.257     | *** | -0.351    | 0.082     | *** |
| 人文・社会融合        | 0.179     | 0.084     | **  | 0.423     | 0.170     | **  | 0.083      | 0.127     |     | 0.519     | 0.417     |     | 0.165    | 0.495     |     | -0.130   | 0.380     |     | 0.339     | 0.111     | *** |
| 文理融合           | 0.708     | 0.380     | *   |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     | 0.328    | 0.456     |     |           |           |     |
| 文理融合           | 0.730     | 0.266     | *** | 1.039     | 0.473     | **  |            |           |     | -2.351    | 0.858     | *** | 0.449    | 0.383     |     | 0.824    | 0.361     | **  |           |           |     |
| 定数項            | -1.085    | 0.616     | *   | -1.719    | 1.250     |     | -1.513     | 0.868     | *   | -2.039    | 2.700     |     | 1.801    | 1.847     |     | -0.247   | 2.008     |     | -1.283    | 0.786     |     |
| Log likelihood | -3527.162 |           |     | -897.621  |           |     | -1847.255  |           |     | -129.948  |           |     | -280.121 |           |     | -267.618 |           |     | -2380.596 |           |     |
| 疑似決定係数         | 0.115     |           |     | 0.105     |           |     | 0.103      |           |     | 0.241     |           |     | 0.204    |           |     | 0.200    |           |     | 0.102     |           |     |
| Obs.           | 7490      |           |     | 1754      |           |     | 3695       |           |     | 540       |           |     | 758      |           |     | 692      |           |     | 4631      |           |     |
| 理系サンプル         |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 説明変数           |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 大学生生活で熱心に行ったこと |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| クラブやサークルでの活動   | -0.045    | 0.029     |     | -0.097    | 0.055     | *   | -0.111     | 0.052     | **  | 0.258     | 0.121     | **  | -0.008   | 0.056     |     | -0.246   | 0.163     |     | -0.125    | 0.051     | **  |
| 友だちや恋人との付き合い   | 0.119     | 0.043     | *** | 0.096     | 0.083     |     | 0.215      | 0.077     | *** | -0.073    | 0.189     |     | 0.090    | 0.086     |     | 0.245    | 0.207     |     | 0.020     | 0.086     |     |
| ダブルスクール・資格取得   | -0.088    | 0.039     | **  | -0.062    | 0.081     |     | -0.086     | 0.069     |     | -0.112    | 0.161     |     | -0.096   | 0.081     |     | 0.228    | 0.204     |     | -0.112    | 0.087     | *   |
| インターンシップ       | 0.008     | 0.038     |     | 0.051     | 0.072     |     | 0.046      | 0.089     |     | 0.107     | 0.135     |     | -0.103   | 0.067     |     | 0.114    | 0.188     |     | 0.026     | 0.064     |     |
| アルバイト          | 0.026     | 0.033     |     | 0.084     | 0.061     |     | -0.108     | 0.057     | *   | -0.104    | 0.133     |     | 0.157    | 0.066     | **  | -0.363   | 0.160     | **  | -0.081    | 0.059     |     |
| 大学入学時のキャリア形成志向 |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 女性ダミー          | 0.060     | 0.020     | *** | 0.096     | 0.036     | *** | 0.009      | 0.042     |     | 0.081     | 0.082     |     | 0.047    | 0.036     |     | 0.289    | 0.081     | *** | 0.052     | 0.038     |     |
| 年齢             | -0.307    | 0.079     | *** | -0.244    | 0.238     |     | -0.274     | 0.134     | **  | 0.206     | 0.365     |     | -0.478   | 0.142     | *** | -0.874   | 0.417     | **  |           |           |     |
| 理学【工学】         |           |           |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     |          |           |     |          |           |     |           |           |     |
| 工学             | -0.392    | 0.119     | *** |           |           |     | -0.004     | 0.238     |     | 0.099     | 0.162     |     | -0.038   | 0.072     |     | -0.498   | 0.176     | *** | -0.609    | 0.193     | *** |
| 農学             | -0.267    | 0.114     | **  |           |           |     | -0.302     | 0.278     |     | 0.125     | 0.630     |     | -0.429   | 0.177     | **  | 0.060    | 0.550     |     | -0.232    | 0.170     |     |
| 保健             | -0.230    | 0.126     | *   |           |           |     | 0.003      | 0.202     |     | -1.268    | 0.442     | *** | 0.533    | 0.420     |     |          |           |     | -0.212    | 0.195     |     |
| 水産・商船          | -0.112    | 0.210     |     |           |           |     |            |           |     |           |           |     | -0.114   | 0.225     |     |          |           |     | -0.318    | 0.291     |     |
| 定数項            | 2.589     | 0.931     | *** | 0.710     | 2.186     |     | 4.735      | 1.700     | *** | -1.331    | 3.587     |     | 0.808    | 1.611     |     | 12.192   | 4.441     | *** | 2.069     | 1.654     |     |
| Log likelihood | -997.054  |           |     | -259.040  |           |     | -281.413   |           |     | -66.487   |           |     | -208.833 |           |     | -42.080  |           |     | -335.512  |           |     |
| 疑似決定係数         | 0.113     |           |     | 0.109     |           |     | 0.147      |           |     | 0.256     |           |     | 0.229    |           |     | 0.321    |           |     | 0.173     |           |     |
| Obs.           | 3219      |           |     | 809       |           |     | 1026       |           |     | 247       |           |     | 852      |           |     | 248      |           |     | 958       |           |     |

表 4-4 「あなたは応募先を選ぶとき、どのような条件を重視しましたか」の各ダミー変数の係数

| 文系学部サンプル                     |  |  | 私立偏差値45以下 |           |  | 私立偏差値46-56 |           |  | 私立偏差値57以上 |           |  | 国立      |           |  | 公立      |           |  | 文系女子全   |           |  |
|------------------------------|--|--|-----------|-----------|--|------------|-----------|--|-----------|-----------|--|---------|-----------|--|---------|-----------|--|---------|-----------|--|
| 説明変数                         |  |  | Coef.     | Std. Err. |  | Coef.      | Std. Err. |  | Coef.     | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  |
| あなたは応募先を選ぶとき、どのような条件を重視しましたか |  |  |           |           |  |            |           |  |           |           |  |         |           |  |         |           |  |         |           |  |
| 大学での専門分野との関連                 |  |  |           |           |  |            |           |  |           |           |  |         |           |  |         |           |  |         |           |  |
| 企業の業種・仕事内容                   |  |  | -0.135    | 0.052 *** |  | -0.026 *** | 0.108     |  | -0.138    | 0.070 *   |  | -0.298  | 0.204     |  | -0.304  | 0.166 *   |  | -0.129  | 0.061 **  |  |
| 企業の業種・仕事内容                   |  |  | 0.069     | 0.039 *   |  | 0.118      | 0.074     |  | 0.054     | 0.056     |  | -0.124  | 0.142     |  | 0.245   | 0.143 *   |  | 0.076   | 0.049     |  |
| 企業の知名度                       |  |  | 0.046     | 0.060     |  | 0.167      | 0.126     |  | 0.052     | 0.086     |  | 0.050   | 0.184     |  | -0.038  | 0.236     |  | 0.010   | 0.085     |  |
| 企業の将来性・安定性                   |  |  | 0.263     | 0.038 *** |  | 0.198      | 0.075 *** |  | 0.268     | 0.055 *** |  | 0.296   | 0.129 **  |  | 0.453   | 0.145 *** |  | 0.270   | 0.050 *** |  |
| 正社員かどうか                      |  |  | 0.302     | 0.047 *** |  | 0.171      | 0.087 *   |  | 0.328     | 0.063 *** |  | 0.481   | 0.201 **  |  | 0.350   | 0.202 *   |  | 0.414   | 0.055 *** |  |
| OB・OGの有無や定着度の高さ              |  |  | 0.131     | 0.181     |  | -0.131     | 0.329     |  | 0.310     | 0.317     |  | 0.541   | 0.540     |  | omitted |           |  | -0.027  | 0.220     |  |
| 勤務時間・休暇・福利厚生など               |  |  | -0.028    | 0.036     |  | -0.110     | 0.072     |  | -0.049    | 0.051     |  | 0.066   | 0.128     |  | 0.148   | 0.140     |  | -0.023  | 0.045     |  |
| 給料                           |  |  | 0.056     | 0.046     |  | -0.037     | 0.082     |  | 0.068     | 0.067     |  | 0.377   | 0.178 **  |  | 0.138   | 0.173     |  | 0.075   | 0.060     |  |
| 地域条件(勤務先・転勤の有無など)            |  |  | -0.041    | 0.035     |  | -0.034     | 0.070     |  | -0.037    | 0.049     |  | -0.145  | 0.120     |  | -0.125  | 0.125     |  | -0.040  | 0.043     |  |
| 理系学部サンプル                     |  |  |           |           |  |            |           |  |           |           |  |         |           |  |         |           |  |         |           |  |
| 説明変数                         |  |  | Coef.     | Std. Err. |  | Coef.      | Std. Err. |  | Coef.     | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  | Coef.   | Std. Err. |  |
| あなたは応募先を選ぶとき、どのような条件を重視しましたか |  |  |           |           |  |            |           |  |           |           |  |         |           |  |         |           |  |         |           |  |
| 大学での専門分野との関連                 |  |  |           |           |  |            |           |  |           |           |  |         |           |  |         |           |  |         |           |  |
| 企業の業種・仕事内容                   |  |  | -0.120    | 0.065 *   |  | -0.145     | 0.127     |  | -0.108    | 0.122     |  | -0.191  | 0.128     |  | -0.272  | 0.310     |  | -0.209  | 0.119 *   |  |
| 企業の業種・仕事内容                   |  |  | 0.083     | 0.072     |  | 0.077      | 0.138     |  | 0.195     | 0.136     |  | 0.021   | 0.139     |  | 0.996   | 0.389 **  |  | 0.043   | 0.126     |  |
| 企業の知名度                       |  |  | 0.145     | 0.122     |  | -0.125     | 0.228     |  | 0.139     | 0.201     |  | omitted |           |  | 0.653   | 0.645     |  | 0.162   | 0.246     |  |
| 企業の将来性・安定性                   |  |  | 0.306     | 0.067 *** |  | 0.206      | 0.131     |  | 0.386     | 0.125 *** |  | 1.005   | 0.269 *** |  | -0.299  | 0.307     |  | 0.322   | 0.126 **  |  |
| 正社員かどうか                      |  |  | 0.044     | 0.109     |  | 0.152      | 0.188     |  | -0.057    | 0.198     |  | 0.197   | 0.493     |  | -1.269  | 0.488 *** |  | 0.066   | 0.194     |  |
| OB・OGの有無や定着度の高さ              |  |  | 0.862     | 0.407 **  |  | 0.569      | 0.581     |  | omitted   |           |  | omitted |           |  | omitted |           |  | omitted |           |  |
| 勤務時間・休暇・福利厚生など               |  |  | -0.011    | 0.071     |  | -0.233     | 0.132 *   |  | 0.096     | 0.142     |  | 0.154   | 0.283     |  | -0.204  | 0.287     |  | 0.002   | 0.125     |  |
| 給料                           |  |  | -0.081    | 0.079     |  | -0.023     | 0.141     |  | -0.181    | 0.150     |  | 0.012   | 0.315     |  | omitted |           |  | 0.182   | 0.159     |  |
| 地域条件(勤務先・転勤の有無など)            |  |  | -0.087    | 0.064     |  | -0.022     | 0.127     |  | -0.174    | 0.121     |  | -0.141  | 0.126     |  | 0.162   | 0.284     |  | -0.160  | 0.113     |  |

(注1) サンプルは、留学生を除く18歳未満の大学4年生である。(注2) \*\*\*は1%水準、\*\*は5%水準、\*は10%水準で統計的に有意であることを示す。

(注3) 説明変数には就労活動の開始時期、女性ダミー、年齢、取得単位のうち値(A)の割合、大学時代に熱心に行ったこと、学部、入学経路、大学の地域が含まれている。

(注4) 標準誤差はすべてwhite法による頑健標準誤差である。

これに対して、下段の理系サンプルでは、「企業説明会やセミナーなどに出席」が理系全、私立 45 以下、私立 46-56、国立、女子学生において 5%水準以下で有意にプラスである他、「エントリーシートを提出」も理系全、私立 46-56、公立、女子学生で 5%水準以下で有意にプラスであった。文系と同様、理系においても複数の大学区分でこれら活動への参加時期が相対的に早い学生は正社員内定を得やすい傾向が観察されたが、私立偏差値 57 以上においては同様の効果を確認できず、また、「OB・OG への連絡」については、国立、公立では有意なプラスの効果が確認されたが、私立 45 以下では有意にマイナスであり、一貫した結果を観察できなかった。さらに、文系推計では非有意であった、「大学就職部主催のガイダンスに参加」が、私立 46-56、公立の区分で有意にマイナスという結果が観察された。ただし、各活動の開始時期には相関があると考えられるため、「大学就職部主催のガイダンスに参加」以外の活動開始時期変数を除いて、表 4-3 と同様の推計を試みたところ、私立 46-56、公立の区分において、パラメタはマイナスを示すものの有意な結果は得られなかった。よって、本推計の結果が、大学就職部による早期ガイダンスの開催が理系学生の正社員内定に悪影響を与えるという解釈を与えるものではないと考察する<sup>18</sup>。

続いて、就職活動内容の指標である「応募先の選択基準」の影響について確認したい。まず、マイナスの影響が最も強く観察された変数「自分の能力や適性と合っていること」の推計結果を見る（表 4-3）。

文系サンプルについては、文系全、私立 46-56、私立 57 以上、女子学生において 1%、国立で 10%、公立で 5%水準でマイナスであった。理系においても私立 57 以上で 1%水準で有意にマイナスである。したがって、比較的偏差値の高い大学群に属する学生や女子学生においては、応募先の選択に際し、自身の能力や適性と仕事内容とのマッチングを他の条件より強くこだわることが正社員への内定を阻害する要因になることが示唆される。

さらに、表 4-4 に掲載した「自分の能力や適性と合っていること」以外の「応募先の選択基準」について見る。「大学での専門分野との関連」は文系全で 1%、文系女子で 5%、私立偏差値 46-46・公立で 10%水準でマイナスに有意、理系においても理系全と理系女子全で 10%水準で有意にマイナスの影響を与えており、「自分の適性や能力」だけではなく、「大学での専門分野との関連」に強いこだわりを持つことも正社員内定にマイナスの影響を及ぼしていることが確認できる<sup>19</sup>。

一方、「応募先の選択基準」のうちプラスの変数に着目すると、文系理系ともに「企業の将来性・安定性」また文系のみ「正社員かどうか」が正社員内定に有意にプラスの結果が出ている。とりわけ文系において、正社員内定を得ている大学生は、企業の将来性や安定性や正社員職など、安定を重視した応募先選びをしている傾向が観察された。

<sup>18</sup> また、文系よりも理系においてこのような傾向が強く観察されたことに対する一つの解釈として、理系で早期から就職活動ガイダンスを開催する必要がある大学学部とは、学部や研究室による推薦枠が少ないため、学生に自由応募による就職活動を促す必要に迫られている大学学部である可能性も考えられる。

<sup>19</sup> 太田（2012）は、大学進学率の上昇が就職率にマイナスの影響を与えていることを示しており、求職者と求人間のミスマッチが大卒者の就職率を引き下げている可能性に言及している。

続いて、各学生の特性や人的資本を表す変数に目を転じたい。まず、学力の指標である成績と大学区分及び入学経路に着目する。文系においては、「取得単位のうち優（A）の割合」は、文系全、私立 45 以下、公立、女子学生において正社員内定にプラスの影響を与えているが、偏差値の中高位の私立や国立大学においては同様の効果を確認できない<sup>20</sup>。さらに、文系全サンプルの分析においては、偏差値 46-56 の私大学生に比べ、偏差値 57 以上の私大学生は正社員内定を得やすく、逆に私大 45 以下は内定を得にくい。このように、文系では大学生の学力と正社員内定との間に正の相関が示唆される。次に、大学への入学経路については、「一般推薦・指定校推薦」が文系全、私立 46-56、公立、女子学生の各区分で 5%水準以下で有意にマイナス、また「AO 入試」も女子学生で 10%水準で有意にマイナスの影響を与えており、「一般入試」によって入学した学生に比べ、推薦や AO 入試入学生は正社員内定を獲得する確率が低い傾向が複数の大学区分で確認された。しかし、とりわけ AO 入試においては、入学時の学力担保が疑問視される偏差値中位以下の大学群において内定へのマイナスの影響は観察されなかった。これについては、近年、偏差値下位の大学群では入学志願者の減少などから<sup>21</sup>一般入試の難易度が低下しているため、一般入試学生と AO 入試学生との学力差が小さいことも影響を及ぼしている可能性も考えられる<sup>22</sup>。いずれにしても、本稿の推計結果からは、文系の推薦・AO 入学者の正社員内定の低さがその学力資質の低さによるものか否か、断定的な考察は得られない<sup>23</sup>。

これに対し、理系においては、「取得単位のうち優（A）の割合」は国立のみでプラスに有意であり、総じて、文系で確認されたような学力と内定との正の相関は確認できない。さらに、大学への入学経路については、「一般推薦・指定校推薦」が私立偏差値 45 以下、公立で 10%水準で有意にマイナスである他は正社員内定への負の影響は観察されなかった。この理由としては、理系学部は文系に比べ一般入試学生が多いこと（表 4-1）や、推薦や AO 入試の出願条件として高校の理系科目の評点を要求されることが多いため、推薦・AO 入試と一般入試の選抜内容に差異が少ないこと等が影響していると考えられる。

次に、学力以外の人的資本変数の結果に着目する。まず、「大学生活で熱心に行ったこと」については、文系では、「アルバイト」が私立偏差値 57 以上を除くすべての区分で有意にプラスである。関口（2010）では、大学生時のアルバイト経験はキャリア形成につながる事が指摘されているが、本稿の結果もこれを示唆している。また、「クラブやサーク

<sup>20</sup> 梅崎・田澤（2012）は、難関大学では成績は内定獲得に影響を与えていないが、非難関大学では成績が内定獲得にプラスの影響をもたらすことが指摘されており（難関、非難関大学は回答者の主観に基づく）、本稿結果も概ね同様の傾向が示唆される。

<sup>21</sup> 日本私立学校振興・共済事業団の報告によれば、調査対象学生の大学入学時と考えられる 2000 年～2002 年度において、（入学者数が入学定員数に満たない）定員割れ状態にあった私立大学の割合は全体の 27.8～30.2%であり、偏差値 45 以下の大学群の多くはこれに当てはまる可能性が推察される（日本私立学校振興・共済事業団『私立大学・短期大学等入学志願動向』各年報告より）。

<sup>22</sup> また、偏差値下位の大学生の就職先・職種で、AO 入試で評価されるような学力以外の資質が重視されている可能性も考えられる。

<sup>23</sup> 一般入試を経た入学生は推薦入学生に比べ、学力以外にも、企業や社会の求める人的資本の蓄積が大学入学時点において優れており、それが卒業後の進路にも影響を及ぼしている可能性も考えられるが、これらの検証は今後の課題としたい。

ルでの活動」への熱心な参加も私立偏差値 45 以下、公立を除く全てのグループで有意にプラス、「友だちや恋人との付き合い」も文系全、私立偏差値 46-56、女子学生において正社員内定への有意なプラスの効果が確認された。これら学生の「学力」のみならず、大学内の人間関係や社会とのつながりから得られる「コミュニケーション能力」や「協調性」、「就業経験」といった人的資本の蓄積が、就職活動の成功にプラスの影響を及ぼす可能性が示唆される。これに対し、私立偏差値 57 以上、国立、公立といった、比較的偏差値の高い大学群で、「ダブルスクール・資格取得」に熱心に取り組んでいた学生は資格の取得に重きを置いているためか正社員内定を得にくい傾向が観察された。

理系では、「友だちや恋人との付き合い」が、理系全、私立偏差値 46-56 において 1%水準で有意にプラスであり、文系・理系を問わず私立 46-56 の大学群においては、友だちや恋人との付き合いから得られるコミュニケーション能力や協調性が内定へのプラスの影響を及ぼす可能性が見出された。その一方で、文系においては複数の大学区分で正社員内定にプラスの効果を及ぼしていた「クラブやサークルでの活動」は、私立 57 以上で有意にプラスであるものの、私立 45 以下、私立 46-56、女子学生では有意にマイナスである。同様に、「アルバイト」も、国立のみ有意にプラスであるが、私立 46-56、公立では有意にマイナスであり、理系の偏差値中低位の大学群において、これら課外活動への積極的な参加が正社員内定にマイナスの影響を及ぼす結果が観察された。

次に、「大学入学時のキャリア形成志向」を見ると、文系においては、文系全、私立偏差値 45 以下、私立偏差値 46-56、国立大学において有意にプラスであり、これら区分においては、将来について明確な目的意識を持って入学してきた学生ほど正社員への内定を得ている傾向がうかがえる。また、理系においても、理系全、私立 45 以下、公立大学において 1%で有意にプラスであり同様の結果が観察された。最後に、コントロール変数として導入した各変数を見ると、文系では、「女性ダミー」が私立偏差値 57 以上と国立を除き有意にマイナスである。理系においても、理系全、私立 46-56、国公立大学で有意にマイナスである。女子学生は男子学生に比べて正社員内定を得にくい現状がうかがえるが、偏差値高位の私大ではこの限りではないことが分かる。また、「年齢」については、文系では有意な影響は観察されなかったが、理系では全サンプル、私立 46-56、公立で 1%水準で有意にマイナスであり、浪人や留年などで年齢を重ねた理系学生は正社員内定を得にくい傾向が確認された。

学部については、まず文系においては、商・経、法学、政策・社会・その他社会科学といった社会科学系の学部の学生は、人文科学系の学生に比べ正社員への内定確率が概ね高い傾向がある一方で、芸術学部の学生は正社員内定が得にくい傾向が観察された。理系では、工学部の学生が最も正社員内定を得やすいことが分かった。

## 5. おわりに

本稿では、大学4年生の正社員内定者の特徴について、進路未定者（内定未獲得者）及び非正社員内定者と比較をしながら分析を行った。推計の結果、正社員内定の規定要因は文系と理系、大学区分によって異なることが確認された。

まず、就職活動の方法が正社員内定に与える影響として、各学生の活動開始時期については、文系学部では、いずれの大学区分においても、情報収集・一次選考に関する何らかの活動へ他者よりも早く参加することが正社員内定に正の影響を及ぼす結果が観察された。よって、文系学部においては、学生が他者に比べ就職活動のスタートに出遅れないように誘導することで、内定率が上昇する可能性が示唆される。ただしこの結果は、学生の数に対する就職機会の数が限られる場合には、単に、同一の新卒者集団内で相対的に活動開始の早い学生が、相対的に内定を得やすい傾向にあることを示すに留まる。つまり、本稿の結果は、社会全体の就活開始時期を早めることが新卒者全体の内定を促進することを示唆するものではないことに留意を要する。一方で、理系学部では、文系と同様、情報収集や一次選考活動への相対的な早期参加が内定にプラスの効果をもたらす傾向が複数の大学区分で観察された。しかし、私立高位校においては全ての活動について有意な結果が得られなかった他、大学主催のガイダンスやOB・OG訪問等の活動に一部負の影響が観察されるなど、文系ほど一貫した効果は見出せなかった。

次に、各学生の応募先の選択基準については、文系学部では、私立偏差値45以下を除くすべての大学区分と女子学生において、他の条件よりも自身の能力・適性の実現に強くこだわって応募先を選択することが、正社員内定獲得を妨げる大きな要因の一つになることが分かった。また、理系においても、私立高位校のみ1%水準で内定と負の影響が観察された。よって、これら比較的偏差値の高い学生群に対しては、自己認識による能力・適性と職業のマッチングにこだわりすぎて、応募先の選択肢を狭め過ぎないようなアドバイスをすることも有効である可能性が考えられる<sup>24</sup>。一方で、「企業の知名度」や「給料」といった条件よりも、自身の専攻・能力・適性と職業とのマッチングへのこだわりの強さが内定獲得を妨げる有意な結果が観察された理由について、厳密な解釈は本稿の推計を超えるが、例えば次のような可能性も考え得る。人気のある企業・産業・業種の選抜が進むに従い、必然的にそうした企業や産業、業種における求人の募集自体が徐々に減少していくため、知名度や賃金の高い企業などへのこだわりは捨てざるを得ない<sup>25</sup>。しかし、自分の能力や適性と仕事内容との関連など、仕事自体に対するこだわりは、第二志望以下の産業・

<sup>24</sup> 無論、マッチングを軽視して正社員内定を得た学生が、就職後に早期離職する可能性も否定できない。その後の就労状況も含めた評価も今後の課題である。また、レベルの高い大学群に限り、このような関係が確認されたことについて、その解釈に一定の留意も要する。これら区分に属する学生は、それ以外の学生に比べ、自身の人的資本も高く、また社会階層的に恵まれた条件に在る可能性が高い。つまり、彼らは敢えて自身のこだわりを捨ててまで新卒で職に就くことを望んでいない（職に就かなくてよい環境を保持している）可能性があり、この場合には、他の区分に属する学生の抱える問題とは本質が異なる。

<sup>25</sup> 文系の国立大学の推計でのみ、「給料」が5%水準で有意にプラスであった。詳しくは、表4-4を参照。

企業においても、本人の主観からは達成可能な条件に見える。そのために、こうした条件にこだわり続けた就職活動を行ってしまう可能性もある<sup>26</sup>。

また、企業サイドから見れば、新卒採用は「白い布は何色にでも染められるが、一度違う色に染まった布を染め替えるのは容易ではない」（永野 2007 p.5）という「白い布」であることが重要であるならば、自身の専攻・能力・適性と職業とのマッチングにこだわり続ける大学生はマネジメントし難いという側面を持ち合わせているように映るかもしれない。いずれにしても、本稿の分析から、自身の専攻・能力・適性と職業とのマッチングへのこだわりの強さが内定獲得を妨げる要因であることが観察された<sup>27</sup>。

最後に、学生の特性と内定との関係については、文系では、私立低位校、公立、女子学生において大学での成績が内定に正の影響を及ぼし、一般入試選抜による入学生はそれ以外の学生に比べ正社員内定を得やすい傾向が複数の大学群で確認され、文系大学においては学力促進も効果的な支援策である可能性が示唆された。また、アルバイトやクラブ・サークル活動、友人づきあいなど、課外活動への熱心な参加も正社員内定に正の影響を与えていた。

これに対し、理系学部では学力と内定との間に正の相関は断定できなかった。その一方で、理系の私立低中位、公立においては、アルバイトやクラブ・サークル活動などの課外活動への熱心な参加が内定獲得に負の影響を及ぼす結果が見出された。理系は文系に比べ、授業負担など大学教育に関わる時間も負荷も大きい。とりわけ理系の偏差値中低位の大学群に属する学生については、これら課外活動に熱心に携わることが、必ずしも企業が理系学生に求める人的資本の蓄積につながるわけではない可能性が推察された。

本稿の分析から、正社員内定の規定要因は文系と理系、大学区分によって大きく異なることが確認された。したがって、それぞれの学生に適した就業支援策を講じるためには、公的機関による支援よりも、学生の個人情報を持ち、指導の機会に接している大学の支援体制の強化がより重要であろう。さらに、各学生の情報が高等学校以下から大学に引き継がれる仕組みを作ることも効果的であろう。大学生の就職困難とその解決に向けた責務は大学のみに帰するものではない。本稿においても、高校以前においてキャリア教育を行うことの有用性が文系理系ともに、複数の大学区分で示されている。

終わりに今後の課題について整理したい。まず、本稿ではデータの制約もあり、大学生の家庭環境や経済状況を適切に踏まえた分析を行うことができなかった。また、先述の通

<sup>26</sup> 佐藤ほか（2010）においては、活動中の志望業界の変更により内定時期が早まり、内定数も増えることが示されている。就職活動が進むにつれ希望業界を変更することはあっても、それに比べ、「自身の専攻・能力・適性と職業とのマッチング」は変更しにくいものなのかもしれない。

<sup>27</sup> また、より専門性を要求される理系学生においても文系と同様の結果が出たことについては、次のような解釈の可能性も考えられる。本田（2005）（2009）によれば、「専門性」とは「個々人が社会の中で、特に仕事に関する面で、立脚することができる一定の知的領域」であり、個人の「『やりたいこと』と、現実社会のスキル需要とを媒介」する役割を持つ。本稿の推計における「自身の専攻分野、能力とのマッチングへのこだわり」とは、個人の「やりたいこと」そのものへのこだわりであり、これを現実社会に着地させる「柔軟な」専門性の醸成を意味するものではないものと考えられる。よって本稿の推計結果は、専門性を養う教育の効果を否定するものではないことにも留意されたい。

り、本稿の推計データは特に理系において就職者に偏ったサンプルで構成されており、卒業生の3割近くを占める大学院進学者についての検証も残されている。さらに、本稿では単年度のクロスセクションデータを用いて分析を行ったが、このような分析は景気動向等の需要要因に推計結果が大きく左右される可能性がある。そして、先に述べたように、教育が卒業生の職業人生へ与える影響を検証するには、就業後の状況を把握する必要がある。今後はこのような課題を克服すべく、全国規模の大学生の進路選択や就業後の追跡調査の蓄積が望まれる。

### 参考文献

- 安部由起子「就職市場における大学の銘柄効果」中馬宏之・駿河輝和編『雇用慣行の変化と女性労働』東京大学出版会, 1997, 第8章, pp.151-167.
- 上田晶美「大学生の就職率調査の現状とその問題点」『嘉悦大学研究論集』, 2012, 第54巻, 第2号, pp.137-151.
- 梅崎修「成績・クラブ活動と就職—新規大卒市場におけるOBネットワークの利用」松繁寿和編著『大学教育効果の実証分析—ある国立大学卒業生たちのその後』日本評論社, 2004, 第2章, pp.29-48.
- 梅崎修・田澤実「大学教育と初期キャリアの関連性」『日本労働研究雑誌』, 2012, No.619, pp.64-76.
- 海老原嗣生『就職、絶望期「若者はかわいそう」論の失敗』, 2011, 扶桑社.
- 海老原嗣生『偏差値・知名度ではわからない就職に強い大学・学部』, 2012, 朝日新聞出版.
- 大久保貢・金澤悠介・倉元直樹「福井大学工学部新入生における高校時代の履修状況と入学後の初年次成績—平成21年度新入生アンケートに基づく調査研究(1)—」『大学入試研究ジャーナル』, 2011, No.21, pp.59-67.
- 太田聡一『若年者就業の経済学』日本経済新聞出版社, 2010.
- 太田聡一「大卒就職率はなぜ低下したのか—進学率上昇の影響をめぐって」『日本労働研究雑誌』, 2012, No.619, pp.29-44.
- 株式会社ディスコ『就職活動モニター調査』2005年度～2014年度版.
- 倉元直樹・大津起夫「追跡調査に基づく東北大学AO入試の評価」『大学入試研究ジャーナル』, 2011, No.21, pp.39-48.
- 玄田有史(2008a)「前職が非正社員だった離職者の正社員への移行について」『日本労働研究雑誌』, 2008, No.580, pp.61-77.
- 玄田有史(2008b)「内部労働市場下位層としての非正規」『経済研究』, 2008, Vol.59, No.4, pp.340-356.
- 玄田有史「正社員になった非正社員—内部化と転職の先に」『日本労働研究雑誌』, 2009, No.586, pp.34-48.

- 小杉礼子 (2007a)「企業からの人材要請と大学教育・キャリア形成支援」小杉礼子編『大学生の就職とキャリアー「普通」の就活・個別の支援』勁草書房, 2007, 第4章, pp.117-154.
- 小杉礼子 (2007b)「大卒者の早期離職の背景」小杉礼子編『大学生の就職とキャリアー「普通」の就活・個別の支援』勁草書房, 2007, 第5章, pp.155-214.
- 小杉礼子「非正規雇用からのキャリア形成－登用を含めた正社員への移行の規定要因分析から」『日本労働研究雑誌』, 2010, No.602, pp.50-59.
- 佐藤一磨・梅崎修・上西充子・中野貴之「新卒需要の変動が大学生の就職活動に与える影響－卒業生アンケート調査の分析－」『キャリアデザイン研究』, 2009, Vol.5, pp.51-63.
- 佐藤一磨・梅崎修・上西充子・中野貴之「志望業界の変化は大学生の就職活動にどのような影響を及ぼすのか－卒業生アンケート調査の分析－」『キャリアデザイン研究』, 2010, Vol.6, pp.83-99.
- 四方理人「非正規雇用は『行き止まり』か?－労働市場の規制と正規雇用への移行」『日本労働研究雑誌』, 2011, No.608, pp.88-102.
- 関口倫紀「大学生のアルバイト経験とキャリア形成」『日本労働研究雑誌』, 2010, No.602, pp.67-85.
- 永野仁「大学生の就職活動とその成功の条件」永野仁編著『大学生の就職と採用－学生1143名、企業658社、若手社員211名、244大学の実証分析』中央経済社, 2004, 第4章, pp.91-114.
- 永野仁「企業の人材採用の変化－景気回復後の採用行動」『日本労働研究雑誌』, 2007, No.567, pp.4-14.
- 濱中義隆「現代大学生の就職活動プロセス」小杉礼子編『大学生の就職とキャリアー「普通」の就活・個別の支援』勁草書房, 2007, 第1章, pp.17-49.
- 林寛子「新たな入学者追跡調査における選抜方法評価」『大学入試研究ジャーナル』, 2011, No.21, pp.159-164.
- 樋口美雄「大学教育と所得分配」石川経夫編著『日本の所得と富の分配』東京大学出版会, 1994, 第8章, pp.245-278.
- 平沢和司「大卒理系就職と学校推薦」岩内亮一・荻谷剛彦・平沢和司編『大学から職業へⅡ：就職協定廃止直後の大卒労働市場』, 1998, 広島大学教育研究センター, 高等教育研究叢書52, 第6章, pp.65-76.
- 平沢和司「大卒就職機会に関する諸仮説の検討」荻谷剛彦・本田由紀編『大卒就職の社会学－データからみる変化』東京大学出版会, 2010, 第2章, pp.61-85.
- 堀田聡子『初職非正社員』は不利なのか『最初の3年』の能力開発機会とその後のキャリアー 佐藤博樹編著『働くことと学ぶこと－能力開発と人材活用』ミネルヴァ書房, 2010, 第6章, pp.147-184.
- 堀有喜衣「大学の就職・キャリア形成支援の現状と課題」小杉礼子編『大学生の就職とキ

- キャリアー「普通」の就活・個別の支援』勁草書房, 2007, 第2章, pp.51-75.
- 本田由紀『多元化する「能力」と日本社会－ハイパー・メリトクラシー化のなかで』, 2005, NTT 出版.
- 本田由紀『教育の職業的意義』, 2009, 筑摩書房.
- 文部科学省『学校基本調査（平成24年度・平成23年度・平成17年度）』, 2012, 2011, 2005.
- 文部科学省中央教育審議会大学分科会「学士課程教育の構築に向けて」平成20年12月24日答申, 2008.
- 労働政策研究・研修機構『高校・大学における未就職卒業者支援に関する調査』, 2010, JILPT 調査シリーズ No.81.
- 勇上和史「雇用形態の多様化と転職」『国民経済雑誌』, 2009, Vol.200, No.5, pp.51-69.
- Kondo, Ayako “Does the first job really matter? State dependency in employment status in Japan”, 2007, *Journal of the Japanese and International Economies*, Vol.21, No.3, pp.379-402.